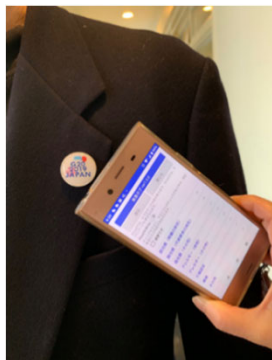


# はなやかKANSAI魅力アップアワード第4回(19年度)大賞 その後

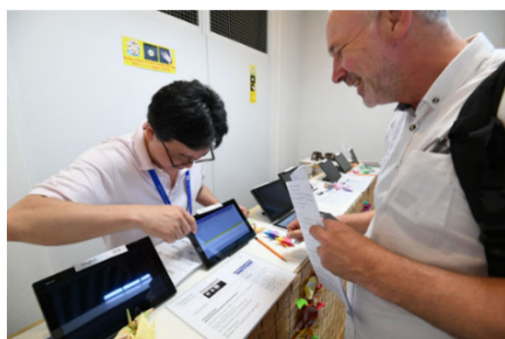


## ICチップ型救急タグ管理システムによるインバウンド向け救急医療対応

- ✓ あらかじめ各自が IC チップ等の「救急タグ」に既往歴やアレルギー、服薬情報等を登録。
- ✓ 急病時に救急隊員や医療機関が専用アプリにてタグを読み込むと、登録情報が日本語で表示されます。
- ✓ 病因や禁忌の参考になり、迅速な処置につながります。



▲G20大阪サミットで配付された救急タグ



▲G20大阪サミット参加者の情報登録の様子



### 取組の背景及び課題

10年ほど前からオリジナルの犬のキャラクター「ポジョレー」が登場する心肺蘇生の講習用動画の制作に携わっており、同キャラクターは救命救急の業界で共通のアイコンとして広く認知されています。ポジョレーをきっかけに救急業界との接点を持っていた同社では、以前から高齢者や外国人観光客の救急搬送者の激増等の課題を把握していました。

それらの課題解決に向け、2014年に「救急タグ」と専用アプリによる救急搬送や診療の円滑化を図る仕組みを考案し、実用化に向けて消防局と共に検討を繰り返しました。

### 救急タグの広がり

2017年には大阪大学医学部附属病院高度救命救急センターとの共同研究の形で、実際に「救急タグ」の作成、配付をスタートしました。G20大阪サミットで海外のメディア関係者が身に付けたことが話題になりました。

2020年に一般市民向けとして日本ではじめて豊中市消防局による配布・運用が始まり、府下5つの自治体で採用、実際の救命につながった事例も複数出てきています。企業が自治体へ救急タグを寄付する事例や他府県の自治体からの問合せが全国から寄せられています。

### 今後の展開

訪日外国人への「安心・安全の提供」のため、「救急タグ」と「訪日外国人向け専用保険」の活用を、損保会社と検討しています。具体的には救急タグを所有する訪日外国人に、「訪日外国人向け専用保険」を提供し観光案内・飲食店案内等による広告収入から、救急タグの費用や保険料を捻出することで医療機関の受入負荷軽減を図るビジネスモデルです。

本システムが広く運用されることで、訪日・在住外国人にも日本在住者と同様の安全・安心の提供につながります。

**「救急タグ」とは？**  
アレルギー、飲んでいる薬、かかっている病気、緊急連絡先等をあらかじめ「カード」に書いておくものです。  
「救急タグ」を常に携帯していると、緊急時に救急隊や病院の医師が書き込まれている内容を参考にでき、安全な医療をすみやかに受けることにつながります。

お子様など、アレルギー症状の出る食材をしっかり伝えられます。  
高血圧、糖尿病などの病歴の確認ができます。  
名前を記載していると「身元確認」に役立ちます。

**救急タグ 素早い処置への第一歩**  
カードは専用のカードケースに入れて持ち歩いてください！  
「救急タグ」を持っていることを救急隊や病院の医師に伝えることにつながります。  
PiTap®, iCOCA®などのカードケースとしてもご利用いただけます。

カードケースにも名前が記入できます。  
問合せはこちら  
柏原羽曳野藤井寺消防組合  
電話番号 072-958-9932  
メールアドレス kyuukyuu@khf119-osaka.jp

企業名：株式会社モンキャラメル（救急タグ研究会ソルティドッグ幹事会社）

<https://119aed.jp/>

所在地：大阪府中央区備後町4-2-10 丸信ビル3F 電話番号：06-6221-3266